

アイパル通信

2015

1

アイパル(I-PAL)の意味

アイは愛や国際交流(International Exchange)を、パルは友達や仲間という意味を表し、アイパル香川が国際交流に関するひとの拠点となるイメージを表現しています。

外国人住民のための防災訓練2014を丸亀で開催しました
 (公財)香川県国際交流協会設立25周年記念事業を開催しました
 世界からのエアメール〜ベール〜香川県人会〜
 県内日本語教室、Japanese Learning Centers、日語教室
 アイパル香川ライブラリーからのお知らせ
 県内の国際交流、協力団体を紹介します
 香川県・陝西省友好提携20周年を記念して友好訪問団が
 中国陝西省を訪問しました
 平成26年度香川県海外技術研修員帰国インタビュー
 よこそIJICAへ
 世界のあれこれ〜フィリピン共和国編〜
 I-PAL NEWS
 Information(県内イベント情報)

外国人住民のための 防災訓練2014を丸亀で開催しました!!

昨年3回シリーズで実施した防災訓練。今年度は丸亀市国際交流協会をはじめとする多くの団体からのご協力を得て、丸亀市で実施しました。今回は、その訓練の様子をレポートします。

2014年10月19日(日) @丸亀市生涯学習センター 10:00~15:15

最初は外国人参加者と日本人参加者が2つの会場に分かれ、それぞれ別の訓練をスタート!

外国人住民のための 防災訓練

参加者：6か国27名

○丸亀の災害を知る(避難所の場所の確認)



○避難所を体験する①

(ダンボールパーティション設置、AED操作、応急処置、搬送、非常食試食)



いよいよ外国人参加者と日本人参加者が一緒に行う避難所巡回訓練が始まります!

○避難所を体験する②

【役割】避難所に避難している外国人被災者役。多言語支援チームの巡回時に、それぞれの国の言葉で質問したり、相談したりする。

●共通訓練<避難所巡回訓練>

丸亀市で災害が発生し、外国人住民が避難所に避難しているという設定のもと、両訓練の参加者全員で、それぞれの役割を分担して実施。



○防災の日本語講座



○避難所巡回訓練振り返り



●参加者全員で振り返り

地震がくるとすぐ避難をしないとダメだと思っていたが、家で待つという避難もあるとわかった。「避難勧告」など、聞いたことはあるけれど意味が分からなかったことをわかりやすく教えてくれたので、すごく勉強になった。自分の命の守り方がよくわかった。外国人でも、助けられるだけでなく、自分たちも日本人を助けたいという「心」を大切にしていきたいと思った。



多言語支援センターの設置の仕方を知り、具体的な動きを知ることができて有意義であった。常日頃から、外国人住民と地域住民の関わりを築いておくことで、災害発生時に外国人住民が避難所に避難しやすくなり、情報の伝達もできると思う。行政として、情報提供のための方策を考え、地域単位で同様の研修を実施したい。

最後は全員で今回の訓練について感想を伝え合いました。

*** アイパル通信10月号に関するお詫び ***

アイパル通信10月号の3、4ページで掲載した韓国国旗に誤りがありました。読者の皆様ならびに関係団体の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。